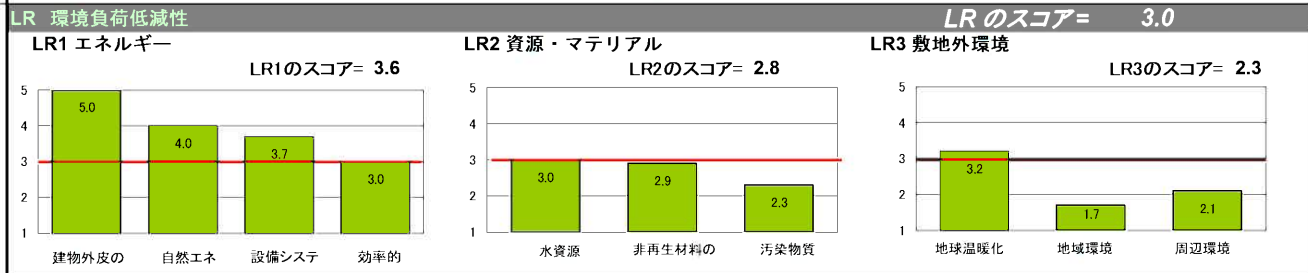
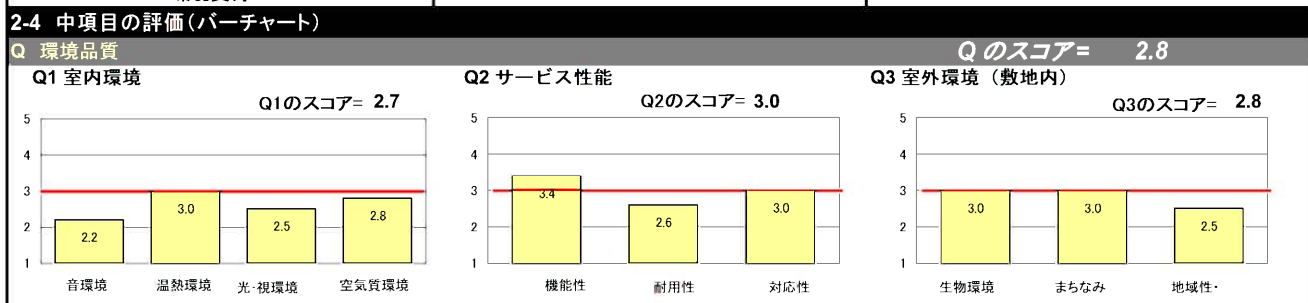
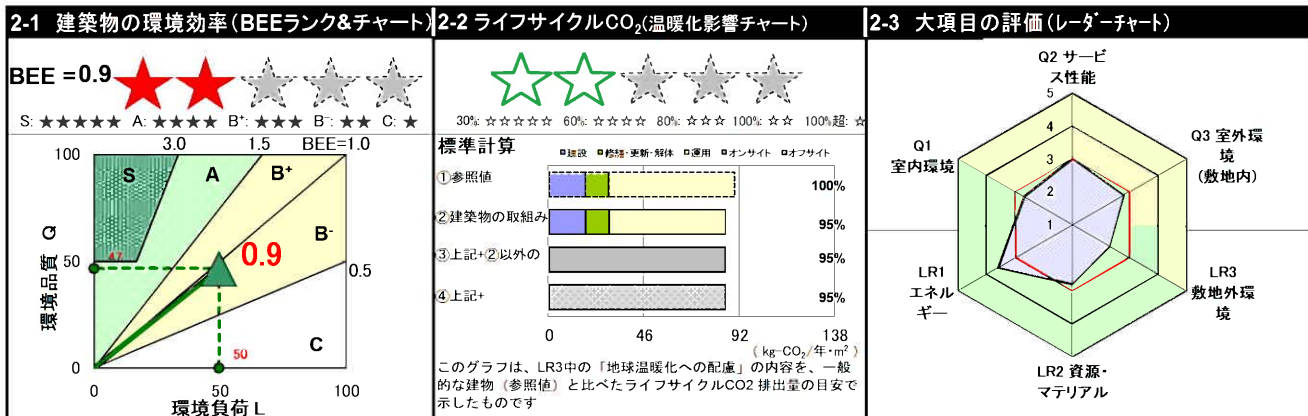




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンエ機フードテクノ社屋・工場	階数	地上2F
建設地	札幌市東区東雁来町11-4-1街区	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30人
気候区分	2地域	年間使用時間	2,112時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2017年3月31日
敷地面積	5,137 m ²	作成者	
建築面積	1,651 m ²	確認日	2017年3月31日
延床面積	2,173 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>建物高さを10m以内におさえ、風害および日照の阻害の抑制に配慮し、周りの景観に配慮した建物としている。</p> <p>また、断熱性能が高く省エネルギーにも適した設計となっている。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>断熱壁およびペアガラス等の採用によりエネルギー消費性能基準に適合させている。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>トイレの便器(大・小)に節水型を採用し水資源の節約に貢献している。</p>	<p>C 緑化</p> <p>樹木46本、芝生等により敷地の10.21%の緑化をしている。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>屋根に無落雪を採用し、敷地内への落雪を極力少なくしている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)サンエ機フードテクノ社屋・工場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目	重点評価項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A		B			評価点	重み係数		評価点	重み係数			
	A	B	C	D									
Q 建築物の環境品質													2.8
Q1 室内環境													2.7
1 音環境													2.2
1.1 騒音													2.0
1.2 遮音													3.0
1 開口部遮音性能													3.0
2 界壁遮音性能													3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													3.0
1.3 吸音													1.0
2 温熱環境													3.0
2.1 室温制御													3.0
1 室温													3.0
2 外皮性能													3.0
3 ゾーン別制御性													3.0
2.2 湿度制御													3.0
2.3 空調方式													3.0
3 光・視環境													2.5
3.1 昼光利用													3.0
1 昼光率													3.0
2 方位別開口													-
3 昼光利用設備													3.0
3.2 グレア対策													3.0
1 昼光制御													3.0
2 障り防止対策													-
3.3 照度													3.0
3.4 照明制御													1.0
4 空気環境													2.8
4.1 発生源対策													3.0
1 化学汚染物質													3.0
2 化学汚染物質													-
4.2 換気													2.3
1 換気量													1.0
2 自然換気性能													3.0
3 取り入れ外気への配慮													3.0
4.3 運用管理													3.0
1 CO ₂ の監視													3.0
2 喫煙の制御													3.0
Q2 サービス性能													3.0
1 機能性													3.4
1.1 機能性・使いやすさ													3.0
1 広さ・収納性													3.0
2 高度情報通信設備対応													3.0
3 バリアフリー計画													3.0
1.2 心理性・快適性													3.3
1 広さ感・景観													4.0
2 リフレッシュスペース													3.0
3 内装計画													3.0
1.3 維持管理													4.0
1 維持管理に配慮した設計													4.0
2 維持管理用機能の確保													4.0
3 衛生管理業務													-
2 耐用性・信頼性													2.6
2.1 耐震・免震													3.0
1 耐震性													3.0
2 免震・制振性能													3.0
2.2 部品・部材の耐用年数													3.0
1 躯体材料の耐用年数													3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													3.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0
2.4 信頼性													1.4
1 空調・換気設備													1.0
2 給排水・衛生設備													1.0
3 電気設備													1.0
4 機械・配管支持方法													3.0
5 通信・情報設備													1.0
3 対応性・更新性													3.0
3.1 空間のゆとり													3.0
1 階高のゆとり													3.0
2 空間の形状・自由さ													3.0
3.2 荷重のゆとり													3.0
3.3 設備の更新性													3.0
1 空調配管の更新性													3.0
2 給排水管の更新性													3.0
3 電気配線の更新性													3.0
4 通信配線の更新性													3.0
5 設備機器の更新性													3.0
6 バックアップスペースの確保													3.0

CASBEE Sapporo2014v1.2

(仮称)サンエ機フードテクノ社屋・工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
配慮項目	重点評価項目									
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.36	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			C			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				サッシは、省エネルギー性の高い複層ガラスを採用した。	5.0	0.07	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A				工場部分にハイサイドライトを採用した。	4.0	0.12	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化					BE1 非住宅 0.92 住宅(寺有部) -	3.7	0.58	-	-	3.7
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				省エネルギー性能の高い照明を採用した。	3.7	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A							-	-	
4 効率的運用						3.0	0.23	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価								-	-	
4.1 モニタリング	A					5.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					5.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水						3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B				2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.33	-	-	
3 冷媒		B				2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.3
1 地球温暖化への配慮		B			LCCO2排出率を参照値以下とした。	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮						1.7	0.33	-	-	1.7
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策						1.0	0.70	-	-	
2 日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	0.9	BEEランク	B⁻
建物名称	(仮称)サンエ機フードテクノ社屋・工場	総合評価 ★★☆☆☆			
建物用途	事務所・工場				
延床面積	2,173.47 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー ★★★★★	<p>省エネルギー性能: 5.0 省資源等への取組: 3.0 緑化への取組: 5.0 雪処理: 1.0</p>
	省資源等 ★★★☆☆	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★☆☆☆☆	
		この建物は特に 緑化への取組 が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	16点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 1.0		
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 9.0		
		LR1 効率的運用	スコア 3.0		
B 省資源等				合計	14点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 2.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
C 緑化				合計	10点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 2.0				
D 雪処理				合計	0点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0		

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
断熱壁およびペアガラス等の採用によりエネルギー消費性能基準に適合させている。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
トイレの便器(大・小)に節水型を採用し水資源の節約に貢献している。	樹木46本、芝生等により敷地の10.21%の緑化をしている。	屋根に無落雪を採用し、敷地内への落雪を極力少なくしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される